

11/29年賀

派閥と金権再び

自民派一揆 億単位の荒稼ぎ

自民党の派閥が金権政治が復活してきた。28日に公表された2020年分の総務省政治資金収支報告書からは、自民党の各派閥が政治資金パーティーで億単位の資金を集めていることが分かります。その実態とは。

一晩に2億円も

（岸田文雄首相が勝

った先の自民党総裁選を黙っても、派閥政治が再び強まってきた感じがする。ある派閥領袖（とうとうしゅ）の言はそう語ります。

自民党には現在、七つの派閥があります。

所属議員が多い順に、安倍派、林生派、茂木派、岸田派、二階派、石破派、石原派です。岸田首相は、他派閥の支援を得て総裁に就任できました。議員数がモノをいい、という仕組みです。

“力”を象徴

派閥の“力”は資金面によう表れていました。岸田首相がトップ

の派閥「宏池政策研究会」は、20年に約2億5400万円を稼めました。衆議院では各派

閥のなかで3番目でした。収入の6割は、たった一晩のパーティーで稼ぎだしています。

パーティーは、昨年10月5日に東京アリ

ンホテルで複数の会場に分かれて開かれ、約1億5200万円を集めました。パーティー券代は、事業上の企業団体献金です。収支額販売の二通りが100万円、日本薬剤師連盟が150万円など、大口購入した企業・団体名が並びます。



都内の高級ホテルで開かれた岸田派の政治資金パーティー=2020年10月5日（足立敏之参院議員のホームページから）

かったのは当時幹事長として権勢をもつた二階俊博衆院議員の派閥「志帥会」です。収入は約2億8500万円。うち約2億2000万円がパーティー収入です。

2番目は、麻生太郎副総裁の派閥「志公会」です。選挙に使われる「水代」と「餅代」がある場合など、所属議員が企業・団体から集めた金を所属議員に子分に配り、総理总裁になるために使っていました。



都内の高級ホテルで開かれた岸田派の政治資金パーティー=2020年10月5日（足立敏之参院議員のホームページから）

「水代・餅代」は、何に使っているのか。これが巨額資金を共通した手法です。派閥で企業・団体献金を集めています。パーティー回で約2億1700万円の収入がありました。派閥に

万円です。回答もパーティー回で約2億1700万円の収入がありました。派閥に

内に高級ホテルに選択本部を開きました。岸田派は、

田派に詳しいメディア関係者は、「派閥にそつて使つホテルが決まります。岸田派は」

ユーチューバーです」と言います。宏池政策研究会はその時期、「ユーチューバー」に約4億500万円を払っています。

派閥が企業・団体から集めた金を所属議員に子分に配り、総理总裁になるために使っていました。所属議員も、領袖のために汗をかくほど懇意なところに入りを得るなどができる仕組みです。

前出の元秘書は言いました。「自民党は金権政治への批判が高まるたびに『脱派閥』と言つてきた。しかし、しばらくすると元に戻ることを繰り返してきました。現状はまるで昔の金権政治にもどったようだ」